

教育制度や社会的情勢など、生徒や保護者を取り巻く環境は大きく変化しています。そんななかで、大石会長は高P連として何を狙っているのか？ 難しい舵取りに挑む大石会長に高P連について自身の言葉で語ってもらいました。キーワードは「会員ひとりひとり」「地区との意見交換」。

— 大石さんが会長に就任して、今年度目指したものは？

「高P連の存在意義を本質的に再確認し、活動方針・重点目標と照らし合わせて、ひとりひとりの会員にとって、いかに役立つ活動ができるか。これを各地区と意見交換をしながら、時勢に沿ったわかりやすい活動を実施・展開することを目指しました。」

— 具体的には？

「昨年度末にPTA活動に対するアンケートを実施しましたが、本年度の事業計画は、その結果から得た様々な課題や要望を基に、プランニングしました。一例をあげると、研修大会の構成・内容の大幅な変更がそれです。研修大会は研修を行う場なので、こちらでテーマを設定し、資料を用意し、講師も立てて研修を実施するという形にしました。」

続く情報交換会は 会員相互が意見交換し、情報を持ち帰る場として設定しました。研修と、交流の場の提供、という本質の意味を意識しました。また、各地区との意見交換という点では、理事会での議案は一度持ち帰っていただき、各地区で検討された意見を議論したうえで承認、という流れを徹底しています。」

— アンケート等で集約した意見のフィードバックの方法は？

「『皆さんの意見は…』と表示するだけでなく、集約した意見をもとに事業を計画し、実行しています。前述の研修内容の見直しはその具体例ですね。また、より多くの会員に直接フィードバックする方法としては、デジタル化を推進しました。情報の鮮度を向上し、コスト削減にもつながりました。」

— 県大会の内容変更、これもそうした流れの中で実施された？

「イベントの負担軽減を求める声が多く寄せられていたのは確かです。しかし、それだけが理由ではありません。将来的な会員数の減少、それに伴う活動予算の縮小を踏まえ、理事・役員の内容を見直し、本質的、且つ現在充分に実行できていない活動にポイントをあてなくてはとの考えがあります。生徒を取り巻く環境整備・改善などに対応する時間をつくることも視野に、いくつかの大会を集約しました。高P連の事業とはイベントを行うことだけではなく、掲げた活動方針・重点目標に沿って事

業を活性化することだと思っています。」

— 今後の高P連の進む方向は？

「常に最適化していくことですね。単純なことです。予算の範囲で無駄は徹底して排除し、かといって不足のない事業を実施する。社会環境の変化の中で、生徒たちを取り巻く環境も変化しているので、その中で生徒の健全育成を支援する必要があります。そのために高P連の活動方針・重点目標の再構築も視野に入れて、本当に今必要な活動を見極め、実行していきたいと思います。生徒や保護者を取り巻く「今」を知ること、現実的なアクションプランを策定することがテーマだと考えます。今年の事業の結果、反省は今年の理事・役員が最も体感していますので、それをもとに、今年度の理事・役員で課題・提案をまとめしっかりと次年度への準備をしていきます。」

それと、ここは私の拘りでもありませんが、PTA活動は楽しくないとダメだと思っています。自分たちが楽しんで活動していなければ、周りも楽しめませんから。楽しんで活動することで心に余裕も生まれいいアイデアも生まれるはずですよ。」

— 最後に関東大会の話を

「7年ぶりの幹事県として参加者にとって心地よい大会にしたいと思います。入念な準備と当日の対応のために会員、OBの皆様と手を取り合って開催したいと思います。ぜひともご協力をお願いします。」



定期総会

課題を残すも、意義深い議案の検討、活発な意見交換

平成28年6月25日（土）パシフィコ横浜会議センターにて『平成28年度高P連定期総会』が開催された。総会は開会宣言後、松本会長挨拶・来賓挨拶・退任した単位PTA会長への感謝状贈呈に続き、議事に入った。議事内容は別表の通りである。

第2号議案として規約・細則の改正について

・規約第4章 会議、(部会)第19条、文言に「通信制部会」を追加し、定時制・通信制部会を置く事を提案し承認された。

・規約第3章 役員及び理事等、(任期)第10条は現行の文言に「再任の場合は、初年度を含め3年を限度とする。」の追加を提案した。しかし、「現役の単位PTA会長が役員になるべき」「単位PTA会員の資格が前提にあるのではないのか」等の意見が

平成28年度 定期総会 成立要件と主な承認事項

【出席者】		【決議事項】		
単位PTA会長	115名	*平成28年度定期総会 成立要件と主な承認事項		
各校校長	110名	*規約・細則の改正		
役員・理事	19名	通信制部会の追加・通信制部会分担金の設定		
委任状	39通	*平成28年度 役員選任		
合計	283名	*平成28年度 活動方針及び重点目標		
総会員数	311名	*平成28年度 事業計画(案)・予算(案)		

	項目	収入	支出	差額(繰越金)
平成27年度 決算	一般会計	29,323,081	29,123,906	199,175
	研修事業会計	9,795,262	9,795,262	0
平成28年度 予算	一般会計	25,756,244	25,756,244	0
	研修事業会計	8,436,000	8,436,000	0

出された。その結果、本提案については一旦取り下げ、今年度の検討課題とされた。役員任期について課題を残したが、第3号議案平成28年度役員選任については承認を得ることができた。

新役員を代表して大石会長より挨拶後、平成28年度の活動方針、重点目標(案)・事業計画(案)・

予算(案)が説明されすべて承認を得られた。



予定者研修

6月11日（土）に理事校、交通担当校のPTA会長、校長、書記担当教諭等に対して予定者研修が実施された。各地区内での輪番によって理事校、交通担当校となるのだが、その周期が十数年になってしまう地区もあるため、いざ当番校になった時には戸惑うことが多い。研修では、昨年度から高P連の組織の説明や提出書類の書式などを分かり易くガイドブックを使用している。また、昨年度までは理事校と交通担当校は別々に行っていたが今年度は同時開催とした。これは、それぞれ異なる役割ではあるが、共通する部分もあり、また地区内では協働する事もあるので互いの業務内容を理解しておいた方が良いとの考えからだ。今回の反省点としては参加人数が多くなったためにやや細かな対応が難しくなったところだろうか。この辺りは今後さらなる工夫が求められる。

会長研修

今年度も6月25日（土）総会を終えてからの同日開催となった。例年との違いは会長、校長に加えて前年度の会長にも参加いただいたことである。PTA会長を経験された方から話を聞けることは、新たに会長になった方にとっては大いに参考になるとの考えからだ。グループ分けについても会長、校長、前会長の比率や地区が偏らないようにした。なぜなら、同地区内での意見交換は、地区協議会の場合を有効に活用してもらうことで、実現できるからである。これによりグループ内に10地区すべてが入ることになり、普段接する機会のない地区の方とも情報交換ができることになった。

学校毎に環境や抱える問題も様々であり、地区協議会では顔を合わせない他地区事例についても、参考にしてもらう機会を設定したいと思

いからだ。地区は異なっても、各々が所属するPTAを取りまとめているという立場は同じであり、その後の情報共有にも広がっていくことで、PTA活動のさらなる活性化につながることを期待される。

参加者の声

- ・幅広い地区の様々な情報を知り得た
- ・会長・校長・旧会長という立場が異なる構成が良い
- ・テーマを明確にして欲しい
- ・もっと時間があれば良かった
- ・関心・悩みは共通だと感じた
- ・はじめて会長になったので大変参考になった
- ・研修費用が高い

(当日アンケートより)

研修大会

今年度は単位PTAにおける各委員会構成に対応してではなく、各単位PTAの課題にあったテーマ・内容を選べるようにした。新しい試みなので選択に迷ったという声もあったが、すべての分科会に高い評価をいただいた。新しい試みとして「進路」について初めて取り上げた。時間の制約がある中で進学・就職それぞれの具体的な要望に応えることは難しいので、多くの人に役立ちそうな「適正診断」と、子どもに寄りそう親の心をテーマに、県立高等学校で指導にあたられているカウンセラーを招いて、ワークショップ形式で実施した。企画した研修委員会として企画意図は明確だったが、大学受験や奨学金、企業に選ばれる人材など、絞り込んだ情報提供を期待していたという意見も寄せられた。今後の課題としてさらに細分化したテーマ設定の必要性を感じた。

健全育成分科会では、「性的マイノリティー (LGBT)」を取り上げた。重要かつ繊細なテーマであったが、ゲストスピーカーに、自らの経験を語ってもらうことで良い反響が得られた。全国的に見ても先進的な取り組みで、県内では、27年度は寒川高等学校PTAがいち早く取り組み、今年度は相模原地区大会で取り上げられた。全県に理解と支援が広まりゆくことが期待される。

実施日：平成28年7月10日(土)

会場：パシフィコ横浜会議センター

参加者：約1,000名

分科会	講演テーマ	講師
第1本部	PTA運営のあり方・学校の防災	高P連
第2会計	PTA会計の考え方	城田英昭氏 城田税理士事務所
第3健全育成	高校生を取り巻く環境問題	星野慎二氏 特定非営利法人SHIP代表
第4進路指導	子どもの自立を考える親の関わり方	赤坂和恵氏 NPO日本キャリア・コンサルタント協会
第5交通安全	自転車通学にひそむ危険	神奈川中央交通 厚木営業所のみなさん
第6広報	広報紙作りと委員会運営	位田明生氏/山下純夫氏 高P連広報委員長/前広報委員長

交通安全分科会では、神奈川中央交通厚木営業所の方を講師に招き、ドライブレコーダーによる事故の瞬間映像を見ながら解説していただいた。活発な質疑があり参加者の強い関心をうかがうことができた。

広報分科会は、広報紙作りの具体的なノウハウ「写真の撮り方、学校行事以外の記事の作り方」をテーマとした。講義後のグループディスカッションも活発に行われ「新しい刺激を受けた」と多くの感想をいただいた。

当日はお弁当を食べながら交流を深めてもらえるようなプログラム作りを行った。平成29年度は神奈川県で関東大会が開催されるため研修大会は行なわれない。平成30年度に今回の成果を引き継ぎたい。



参加者の声

- ・研修時間(分科会)を多くしてほしい
- ・研修大会を続けて欲しい
- ・グループの人数が多過ぎて話が聞こえない
- ・テーマ・資料が良かった
- ・プロ(講師)の話が良かった
- ・話・言葉が専門的過ぎて難しかった
- ・重要なテーマがあり考えさせられた
- ・ドライブレコーダーの事故シーンを子どもにも見せたい

(当日アンケートより)

1. 評価

	初参加	2回目
1 本部役員	132	80
2 会計	99	33
3 健全育成	129	8
4 進路	140	20
5 交通安全	113	29
6 広報	145	21
	758	191

	良い	不満	どちらとも	無回答	計
1	183	2	26	1	212
2	115	2	11	4	132
3	123	0	12	2	137
4	114	8	29	10	161
5	134	0	8	0	142
6	138	0	24	4	166
	807	12	110	21	950

笑いあり、涙あり、 あっと驚く感動のPTA連合大会

今大会は、平成28年12月3日（土）パシフィコ横浜 会議センターにて広報紙コンクール表彰式、健全育成大会を県大会に集約させる形で開催された。「学び・伝え・活かす」をテーマに、約800名が参加し、長時間を感じさせない盛大なPTA連合大会となった。

開会式、高P連関連の表彰に続き、安全振興会の作文コンクールの最優秀賞に輝いた大和西高等学校、古田島総合高等学校の生徒による朗読が行われた。その後、感動の広報紙コンクール表彰式となった。広報紙の審査は、学校の雰囲気や魅力を伝えると同時に、企画、デザイン性やインパクトが感じられるなど総合的な観点から行われる。今大会では予め受賞校には受賞の事実のみを伝え、各賞は表彰式で発表する形式を取り入れた。最優秀賞校となった大船高等学校の感極まった涙が、広報紙作りへの熱い思いを感じさせた。

午後の講演は、医師であり公益社団法人いはらき思春期保健協会理事、日本思春期学会常務理事の和田由香先生を講師に招いて行われた。内容は最近の保健授業の状況の他、思春期の性について、インターネットや

第54回神奈川県立高等学校PTA連合会大会

SNSから得られる間違っただけの情報に鵜呑みせず、大人も正しい情報を得ることを、クイズと質疑応答を交え楽しく、まじめに学ぶ機会が得られた。



PTAの発表は交通安全1校、地区代表2校によるすばらしい発表であった。交通安全発表校の足柄高等学校PTAは自転車点検とスクエアドストレートを通じて命を守る意識改革が発表された。地区大会2校では、二宮高等学校PTAから災害時に自分自身を守るために保護者・生徒・二宮町役場が互いに協力してDIG（災害図上訓練）体験が発表された。続いて、瀬谷西高校PTAからは、笑顔と笑いが絶えなかった昔の休み時間と比較して会話がほとんどない今の過ごし方に疑問を持った

校長の投げかけから、学校内でのスマホ使用禁止に関する発表があった。PTA役員が制服姿で演じ、学校と保護者のぶれない対応が感じられる発表であった。

大会後は世界のビール博物館へ移動しての情報交換会が行われた。単位PTA活動や生徒を取り巻く環境などの情報を共有し、大変有意義な時間を過ごした。

単位PTAの負担軽減及び効率化のため集約させた今大会は、高P連の事前シミュレーションにより、大きなトラブルもなく開催された。アンケートから得られた参加者のご意見を取り入れ、今後とも参加者に喜んでいただける大会を目指していきたい。

参加者の声

- ・長時間でハードスケジュールだったが充実していた
- ・3大会が1度で済んで良かった
- ・広報紙コンクールが早まり大変だった
- ・講評が参考になった
- ・各校の事例発表が素晴らしかった
- ・インクルーシブ教育について考えて欲しい
- ・興味深くテンポ良い講演が素晴らしかった

(当日のアンケートより)

講演 『健全育成を考える～スマホ（SNS）の利用を通じて～』

講演は、思春期の問題行動や青少年に増えているトラブルに詳しい医師の和田由香先生にお願いした。演題は、『健全育成を考える～スマホ（SNS）の利用を通じて～』。昨年度、高P連調査広報委員会より各単位PTAの会長にアンケートを行った。その結果を先生に渡して保護者の要望に、できるだけ応える形での話をお願いした。親が、なかなか子ども達と面と向かって話すことのない性について、ユーモアを交え質疑応答を含めて、約一時間半の話であった。思春期の

性について保護者が持っているであろう漠然とした不安や疑問が解決した参加者の方もいたのではないだろうか。先生から高P連役員に、直前に打合せもシナリオもないまま、寸劇をするよう指示があり、素人のぎごちない即興お芝居を演ずることとなった。しかし、参加者には思いの外好評であった。



和田先生には講演後も、個別の相談にも、丁寧に応じていただき、充実した講演となった。

足柄高等学校PTA

命を守る意識改革
「交通事故ゼロを目指して」



毎年5月に自転車店と一緒に自転車点検を実施。点検後の自転車には点検表と、特に修理を要するものにはレッドカードを貼り注意を促している。その他、毎年秋にスクエアドストレート式交通安全教室を開催。実際にスタントマンが事故を再現して生徒達に交通ルール遵守の大切さを実感させ、交通事故に遭わないよう意識を高めている。

二宮高等学校PTA

自分で自分の身を守る!!
～DIG体験～

『大規模地震が発生したら、生徒はどうなるのだろう…』という疑問から、PTA・学校・役場が協力してDIG体験を実施した。DIGとは、災害・想像・ゲームの略で災害図上訓練のやり方の1つである。



災害訓練と言うと学校内での取り組みを考えがちだが、登下校の途中で地震が発生したらどうすれば良いかを生徒と一緒に取り組んでいる点が評価された。

瀬谷西高等学校PTA

学校内でスマホって必要ですか？

登校から帰りのHRまで、スマホ等の電子機器の所持と使用の禁止を導入するまでの経緯を劇で発表。

PTA役員が制服を着て生徒役を、上手に演じているのに驚かされた。授業時間以外はスマホの使用がOKの学校が多い中、意外にも生徒達は帰りのHRまで使用禁止に対して、大きな反対は起きなかった。

『高校生にそこまでしなくても…』との意見もあるが、興味深い取り組みである。



広報紙コンクール受賞校



最優秀賞
大船高等学校「青船」



優秀賞
神奈川新聞社賞
横須賀高等学校「横高PTA JOURNAL」
県教育委員会教育長賞
秦野高等学校「ひろはた」
県立学校長会賞
座間高等学校「ZAMAKO」
県立高等学校安全振興会賞
神奈川総合高等学校「ざっくばらん」



奨励賞
鎌倉高等学校「鎌高」
七里万浜高等学校「七里万浜」
湘南台高等学校「湘南台高校」
横浜国際高等学校「YIS EYE」
西湘高等学校「西湘」



神奈川県立高等学校安全振興会写真賞 神奈川工業高等学校
「神奈川県立神奈川工業高等学校 PTA会報」

写真賞：横浜緑園総合高等学校「緑」
企画賞：平塚中等教育学校「翠星」
編集賞：海老名高等学校「海老名」

関東大会シンボルマーク



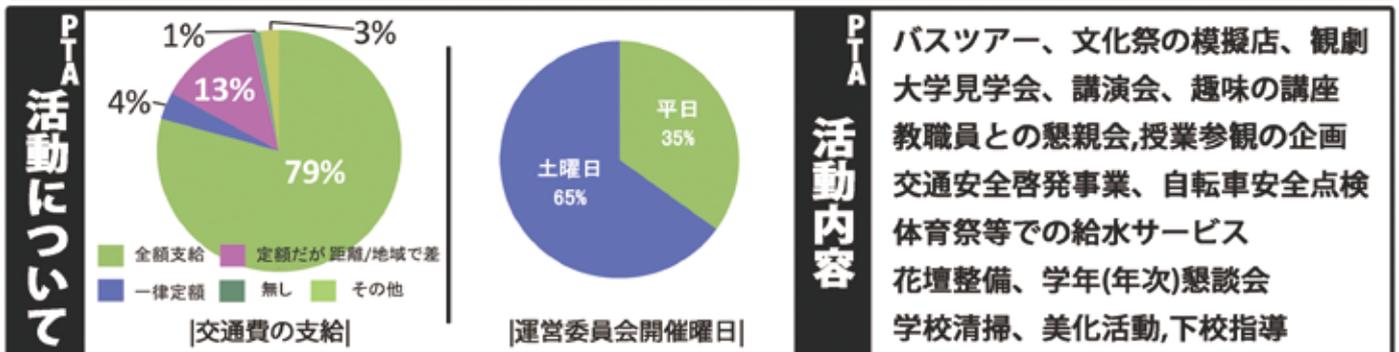
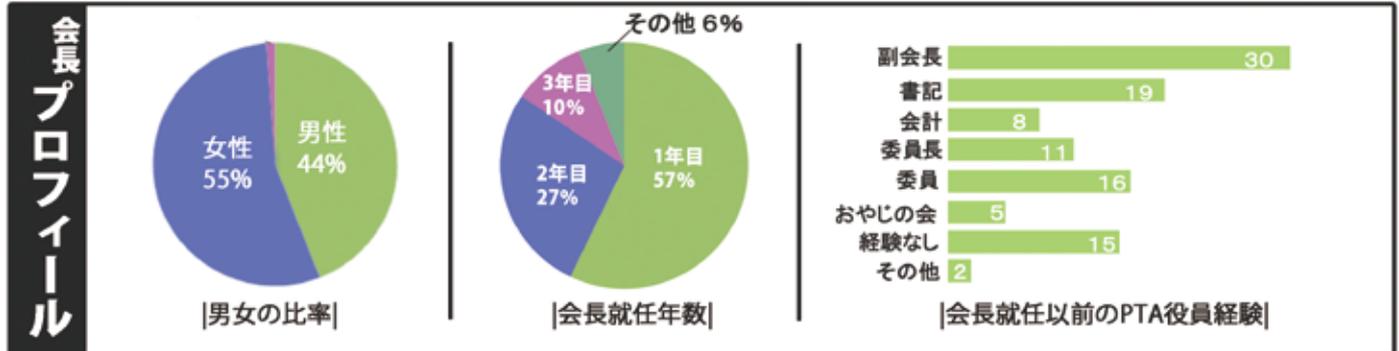
厚木商業高等学校 村松明日香さん作品

本年7月7・8日に、平成29年度関東地区高等学校PTA連合会大会神奈川大会が開催される。大会で使用するシンボルマークは、厚木商業高等学校の村松明日香さんの作品が採用されることとなった。1月24日に厚木商業高等学校校長室で表彰が行われ、大平雅子校長より、村松さんに実行委員会からの表彰状と記念品が授与された。村松さんからは、「一目見て神奈川、心などといったものが伝わるようなマークにしました。」という作品の説明があった。



H27年度 PTA活動に関するアンケート結果

実施期間：平成28年3月18日～4月27日 対象：PTA会長 回収率：54.2% (84/155校)
表示形式：単一回答→パーセンテージを用いた円グラフ / 複数回答→絶対値を用いた棒グラフ



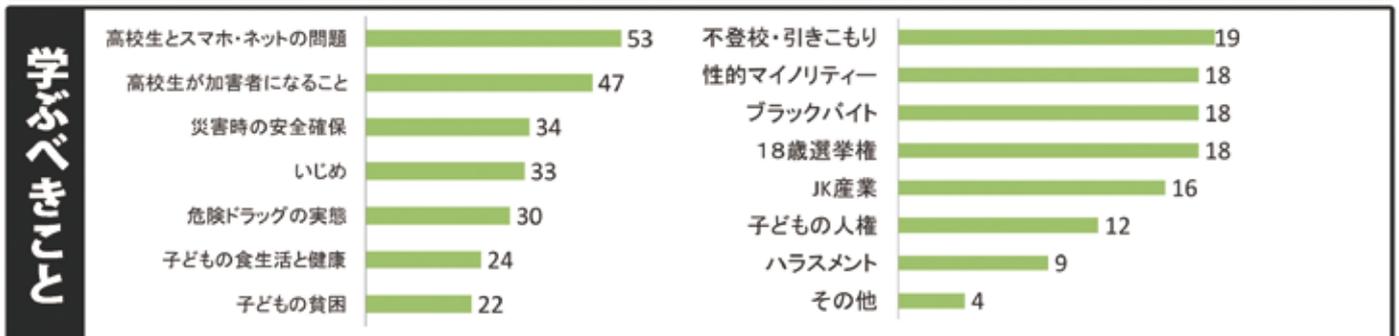
PTA参加への工夫

年度初めに全てのイベントの告知・募集を行う
行事日程が重なったり連続しないようにする
学校と協力し学校行事と合わせて行う
休日にボランティア活動を設定する
委員会以外のサポーター制度 まちコミの活用
手紙やメールでの告知 日程を早く知らせる
3年間の縛りをなくす 活動をスリム化する

父親参加への工夫

入学式での呼びかけ
父親が参加しやすい行事の設定
おやじの会を置いている
環境整備は土曜日に実施
夫婦での参加を促す
イベントを土日に設定している

防災への取り組み	PTA	共同	学校
	防災倉庫の購入・提供	まちComiでの情報発信	水・乾パン・防災備品の備蓄
	AEDリース・研修	防災訓練の参加	防災訓練、防災マニュアル整備
	防災マップ配布	備蓄食料の試食	地域の防災訓練へ参加
	緊急時連絡カード配布	防災に関する講演会	災害時の学校の対応を保護者に通知
	広報紙での防災特集	防災備蓄品の購入	下校指導
		大型トイレ3基備蓄	



教育委員会の掲示板

「かながわ教育月間」

県では平成28年4月に、かながわ教育ビジョンで掲げた理念の実現に向け、県民の皆さんの教育に関する理解と関心を高め、協働・連携によるかながわの人づくり、自分づくりを進めるため、「かながわ教育月間」を設定しました。

平成29年度は、10月7日から11月5日までの30日間です。期間中には、県民の皆さんとの論議の場「かながわ人づくりコラボ」をはじめ、県内各地で様々な教育イベントが開催されますので、ぜひお出かけください。

かながわ教育月間

検索

寄附のお願い

「まなびや基金」「奨学金基金」

①まなびや基金は、より一層快適な学びの場を提供するため、県立学校の物品購入・改修工事など、教育環境の整備に活用しています。

②奨学金基金は、学資を必要とする高校生等の奨学金の貸付に活用しています。

皆さんのご協力をお願いします。

※詳しくは「神奈川県まなびや基金」、「神奈川県奨学金基金」各ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

県教育委員会財務課

電話①045(210)8105

②045(210)8251

スマートフォン等の適切な使用について

高校生のスマートフォン等でのインターネット利用が広がる中で、犯罪に巻き込まれたり、不適切な書き込みが人間関係のトラブルに発展するなど、さまざまな問題が増加しています。これらの問題を未然に防止するために、フィルタリングの設定や、スマートフォン等の使用に関するルールやマナーについて、ご家庭

での話し合いをお願いします。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f300473/>

「県立高校改革について」

県教育委員会では、平成28年4月からすべての県立高校で改革に取り組んでいます。

平成29年4月には、横浜緑園総合高校を総合学科から単位制普通科に改編し、校名を横浜緑園高校に変更するなど、県立高校12校の学科改編等を実施し、そのうち4校の校名を変更します。

「生徒の学びと成長にとって何が重要かという視点を最優先にする(スチューデント・ファースト)」という考え方に立って、改革を推進してまいりますので、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。県立高校改革実施計画(1期)の推進(学科改編等)

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f534887/>

県立高校改革(改革全般)

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f531868/>

県立高校におけるインクルーシブ教育の推進について

県では、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育を進めており、県立高校においては昨年4月、高校改革の中で茅ヶ崎、厚木西、足柄高校の3校をインクルーシブ教育実践推進校のパイロット校に指定しました。パイロット校では、本年4月の知的障がいのある生徒の受入に向けて、すべての生徒が相互理解を深めながら成長することのできるインクルーシブな学校づくりに取り組んでいます。今後は、実践推進校を20校程度まで拡大しつつインクルーシブ教育をさらに進めてまいりますので、PTAの皆様の一層のご理解とご支援をお願いします。

生涯学習のサポートをいたします!

県立図書館新館1階の生涯学習サポートコーナーでは、豊かな人生を実現する「生涯学習」を進めるため

に参考となる様々な資料(大学講座・催し物・施設等)を取り揃えています。学習相談員に、気軽に相談もできますので、ぜひご利用ください。

また、インターネットでも、県生涯学習情報システム「PLANETかながわ」で、生涯学習に関する講座・イベントや団体、指導者等の情報を検索できます。併せてご利用ください。

【問い合わせ】

県立図書館生涯学習サポート課

電話 (045)263-5916

PLANETかながわ

検索

3033運動

県では、健康で明るく豊かな生活を送るために、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、くらしの一部として習慣化する「3033運動」を推進しています。

毎日忙しく、運動する時間や機会の少ない方でも無理なくできる運動として「チャレンジ階段のぼり」「イキイキ大また歩き」「スッキリスキマストレッチ」の3つの運動を紹介しています。「3033運動」で健康寿命の延伸をめざしましょう!!



詳しくはホームページにアクセス!

3033運動

検索

「24時間子どもSOSダイヤル、不登校ほっとライン」のご案内

県立総合教育センターでは、いじめや不登校等に関する様々な悩みやお問い合わせに応じています。

「24時間子どもSOSダイヤル」

電話0120-0-78310(全国共通)

(0466)81-8111

24時間365日受付

「不登校ほっとライン(電話相談)」

電話(0466)81-0185

月曜日～金曜日 8:30～21:00

土・日・祝休日 8:30～17:15

(12月29日～1月3日を除く)

安全振興会報

一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会

平成29年度

会費、会費減額・修学奨励金給付

平成28年度定時評議員会にて平成29年度会費額が表のとおり決定された。
共済掛金（純掛金+付加共済掛金）については、退会・

途中入会の際には「共済規程」及び「共済規程の運用について」に基づき返金額・納入額を月割り計算で行う。（一般会費は年会費）（詳細はホームページにて掲載）

単位：円

学校 課程	会費内訳			合計
	純掛金	付加共済掛金	一般会費	
高等学校 ^(※) 全	702	378	120	1,200
	351	189	60	600
中等教育学校	702	378	120	1,200

(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む

安全・健康 生徒の提言

ポスター・作文コンクール

生徒の安全意識の高揚と学校安全の推進を図るため、本会は11月を安全推進月間に指定し、「安全」又は「健康」をテーマにポスター・コンクールと作文コンクールを実施した。

ポスター・コンクール

ポスター・コンクールは県高等学校文化連盟美術・工芸専門部会への委託事業として実施され、県下公立高校から142点(9校)の応募があった。本会の審査の結果、以下の入賞者を決定し、1月15日の県高等学校総合文化祭(以下「県高総文祭」)閉会式で表彰した。また、本会は最優秀作品の2点を原画としてポスターを作成した。

最優秀賞(2点)

〔安全推進月間〕入澤友香(横須賀総合)、〔作文募集〕川畑



入澤友香さん(横須賀総合)



川畑聡美さん(横浜隼人)

聡美(横浜隼人)
優秀賞(11点)
水上知、榎本香菜、神田深生(以上、横浜隼人) 斑目実裕、高橋健人、宮崎晶湖(以上、白山) 島山実梨(市ヶ尾) 芹澤由莉香、三堀朋香、細谷みづき、坂部楓由希(以上、横須賀総合)

佳作(12点)
吉川侑里、米田真奈美、中河恵理(以上、白山) 山崎万里子(上矢部) 梶原篤毅、亀割也絵、立谷央麗、鈴木優花、大野彩音(以上、横須賀総合) 村田ひかる、中村朱里、平田夏海(以上、横浜隼人)

作文コンクール

ムページに掲載) 会費合計額は変更無し(内訳は表を参照)。「会費減額申請資格基準」及び「修学奨励金給付基準」は変更無し。(詳細は、事業説明会で説明、ホームページにて掲載)

作文コンクールは県立高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部の生徒を対象に実施された。応募数は870編(14校)。今年度の入賞作品は以下のように決定した。最優秀賞2編は「安全振興会のご案内」(平成29年度版)に掲載した。会報第69号(9月発行予定)にも選考委員の講評とともに掲載する。また、この2編は12月3日の神奈川県立高等学校PTA連合会大会で本人による朗読が行なわれた。

最優秀賞(2編)

高田夏美(大和西)「会いたい人」、井上友花(吉田島総合)「いつでも地域に安心を」

優秀賞(6編)

地元野菜で備えを常に〜 菊池昌太郎、山田歩、加島若奈、本多夏萌、大谷仁美(以上、多摩) 岡本広大(横濱清陵総合) 佳作(38編) 佐藤舞、内山直也、松浦嗣子、大和仁美、原田美梨菜、綱

嶋日向、三上菜々美(以上、瀬谷西) 小野瀬昇吾、西方香子、伊東梨那、伊藤昂太、速見藍(以上、横浜清陵総合) 手塚悠、柴山寧々、中嶋彩葉、土井加音、原美優、乾幸輝、南凜、岡田篤頼、永井秀明、今本彩香、石川楽、高月泰秀、二宮朱里、鷺尾卓、内山理音、須藤恵梨香(以上、多摩) 中谷未希、中谷天音、奥山璃乃、平山龍之介(以上、麻生総合) 大槻沙夏、伊藤七海、会田有莉(以上、伊勢原) 越智ひかり、篠原恵、高橋美羽(以上、大和西)

全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会岐阜大会

平成28年10月6日〜7日、岐阜キャッスルインにおいて開催された。来賓の文部科学省PTA等共済室下田力室長補佐、岐阜県松川禮子教育長はじめ全国より17団体64名の参加があった。

総会では平成27年度事業報告等がされ、28年度の事業計画・予算(案)が承認された。続いて、文科省吉谷係長より、共済事業の現状と課題の講義と活発な研究協議が行われた。

事務局 毛帖

日誌より

- ▼9・15第8回常務理事会
- ▼9・30作文コンクール締切
- ▼10・6〜7全国高等学校等安全互助会連絡協議会(以下、「全国連絡協議会」)総会及び研究大会岐阜大会
- ▼10・11PTA共済法に基づく立入検査
- ▼10・13第3回義歯見舞金審査委員会
- ▼10・25第9回常務理事会
- ▼10・27作文コンクール最終選考
- ▼10・29県高総文祭閉会式
- ▼11・7作文コンクール結果発表
- ▼11交通安全高校生・PTA大会
- ▼11・16中間会計監査
- ▼11・17第10回常務理事会
- ▼11・25全国連絡協議会研修会
- ▼12・1第3回理事会、第11回常務理事会、コンプライアンス研修会
- ▼12・3「安全振興会のご案内」(平成29年度版)発行、高P連原大会
- ▼12・22第12回常務理事会
- ▼1・6平成29年度補助金・委託金申請締切
- ▼1・12第4回義歯見舞金審査委員会
- ▼1・15県高総文祭閉会式
- ▼1・18平成28年度交通安全運動報告会
- ▼1・26第13回常務理事会
- ▼2・9第4回理事会、第14回常務理事会
- ▼2・10文部科学省PTA等共済研修会
- ▼2・20安全振興会報68号発行(以下予定)
- ▼2・23第15回常務理事会
- ▼3・14臨時評議員会、第16回常務理事会
- ▼4・28平成29年度事業説明会

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

〒231-0033 横浜市中央区山下町一番地シルクセンター三二六号室
電話 045-174-1818 / FAX 045-174-1819
URL <http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp>

安全振興会報

一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会

平成29年度

会費、会費減額・修学奨励金給付

平成28年度定時評議員会にて平成29年度会費額が表のとおり決定された。
共済掛金（純掛金+付加共済掛金）については、退会・

途中入会の際には「共済規程」及び「共済規程の運用について」に基づき返金額・納入額を月割り計算で行う。（一般会費は年会費）（詳細はホームページにて掲載）

単位：円

学校 課程	会費内訳			合計
	純掛金	付加共済掛金	一般会費	
高等学校 ^(※) 全	702	378	120	1,200
定	351	189	60	600
通	105	57	18	180
中等教育学校	702	378	120	1,200

(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む

ポスターコンクール

安全・健康 生徒の提言

ポスター・作文コンクール

生徒の安全意識の高揚と学校安全の推進を図るため、本会は11月を安全推進月間に指定し、「安全」又は「健康」をテーマにポスターコンクールと作文コンクールを実施した。

ポスターコンクールは県高等学校文化連盟美術・工芸専門部会への委託事業として実施され、県下公立高校から142校（9校の応募があった。本会の審査の結果、以下の入賞者を決定し、1月15日の県高等学校総合文化祭（以下「県高総文祭」）閉会式で表彰した。また、本会は最優秀作品の2点を原画としてポスターを作成した。



入澤友香さん(横須賀総合)



川畑聡美さん(横浜隼人)

最優秀賞（2点）
〔安全推進月間〕入澤友香（横須賀総合）、〔作文募集〕川畑聡美（横浜隼人）

佳作（12点）
吉川侑里、米田真奈美、中河恵理（以上、白山）山崎万里子（上矢部）梶原篤毅、亀割也絵、立谷央麗、鈴木優花、大野彩音（以上、横須賀総合）村田ひかる、中村朱里、平田夏海（以上、横浜隼人）

佳作（38編）
佐藤舞、内山直也、松浦嗣子、大和仁美、原田美梨菜、綱

作文コンクール

作文コンクールは県立高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部の生徒を対象に実施された。応募数は870編（14校）。今年度の入賞作品は以下のように決定した。

最優秀賞2編は「安全振興会のご案内」（平成29年度版）に掲載した。会報第69号（9月発行予定）にも選考委員の講評とともに掲載する。
また、この2編は12月3日の神奈川県立高等学校PTA連合会大会で本人による朗読が行なわれた。

最優秀賞（2編）
高田夏美（大和西）「会いたい人」、井上友花（吉田島総合）「いつでも地域に安心を」
地元野菜で備えを常に」

優秀賞（6編）
菊池昌太郎、山田歩、加島若奈、本多夏萌、大谷仁美（以上、多摩）岡本広大（横浜清陵総合）

佳作（38編）
佐藤舞、内山直也、松浦嗣子、大和仁美、原田美梨菜、綱

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
〒231-0033
横浜市中央区山下町一番地シルクセンター三二六号室
電話〇四五-一七四-八八九／FAX〇四五-一七四-八一九〇
URL <http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp>

平成28年10月6日～7日、岐阜キャッスルインにおいて開催された。来賓の文部科学省PTA等共済室下田力室長補佐、岐阜県松川禮子教育長はじめ全国より17団体64名の参加があった。

全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会岐阜大会

平成28年10月6日～7日、岐阜キャッスルインにおいて開催された。来賓の文部科学省PTA等共済室下田力室長補佐、岐阜県松川禮子教育長はじめ全国より17団体64名の参加があった。

事務局 毛帖

日誌より

- ▼9・15第8回常務理事会
- ▼9・30作文コンクール締切
- ▼10・6～7全国高等学校等安全互助会連絡協議会（以下、「全国連絡協議会」）総会及び研究大会岐阜大会
- ▼10・11PTA共済法に基づく立入検査
- ▼10・13第3回義歯見舞金審査委員会
- ▼10・25第9回常務理事会
- ▼10・27作文コンクール最終選考
- ▼10・29県高総文祭閉会式
- ▼11・7作文コンクール結果発表
- ▼11交通安全高校生・PTA大会
- ▼11・16中間会計監査
- ▼11・17第10回常務理事会
- ▼11・25全国連絡協議会研修会
- ▼12・1第3回理事会、第11回常務理事会、コンプライアンス研修会
- ▼12・3「安全振興会のご案内」（平成29年度版）発行、高P連東大会
- ▼12・22第12回常務理事会
- ▼1・6平成29年度補助金・委託金申請締切
- ▼1・12第4回義歯見舞金審査委員会
- ▼1・15県高総文祭閉会式
- ▼1・18平成28年度交通安全運動報告会
- ▼1・26第13回常務理事会
- ▼2・9第4回理事会、第14回常務理事会
- ▼2・10文部科学省PTA等共済研修会
- ▼2・20安全振興会報68号発行（以下予定）
- ▼2・23第15回常務理事会
- ▼3・14臨時評議員会、第16回常務理事会
- ▼4・28平成29年度事業説明会